

ローソク足の形成について理解

ローソク足は基本中の基本 4本値は必須

ローソク足とは？

ローソク足は、1日の取引時間中の株価の値動き（始値、終値、高値、安値）を1本のローソクの形で表現したものです。

ローソク足は大きく分けて「陽線」と「陰線」の2パターンに分類されます。

日足（ひあし）と言い、1週間または1カ月で表したローソク足を週足（しゅうあし）、月足（つきあし）と言います。

海外ではキャンドルと言われています。



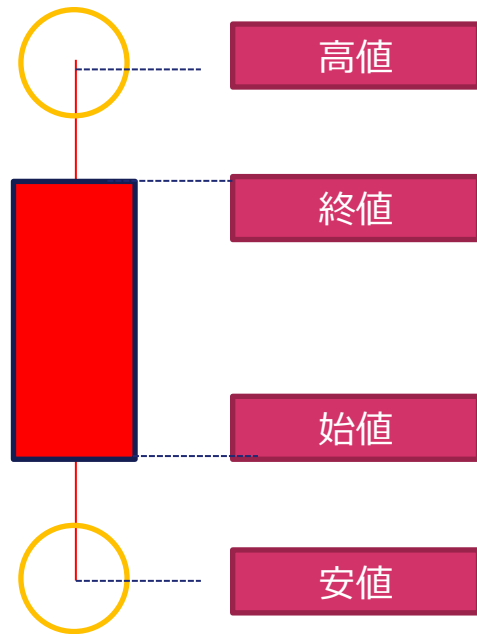
四本値とは？

始値、終値、高値、安値

「陽線」と「陰線」を定義づける重要な情報です。

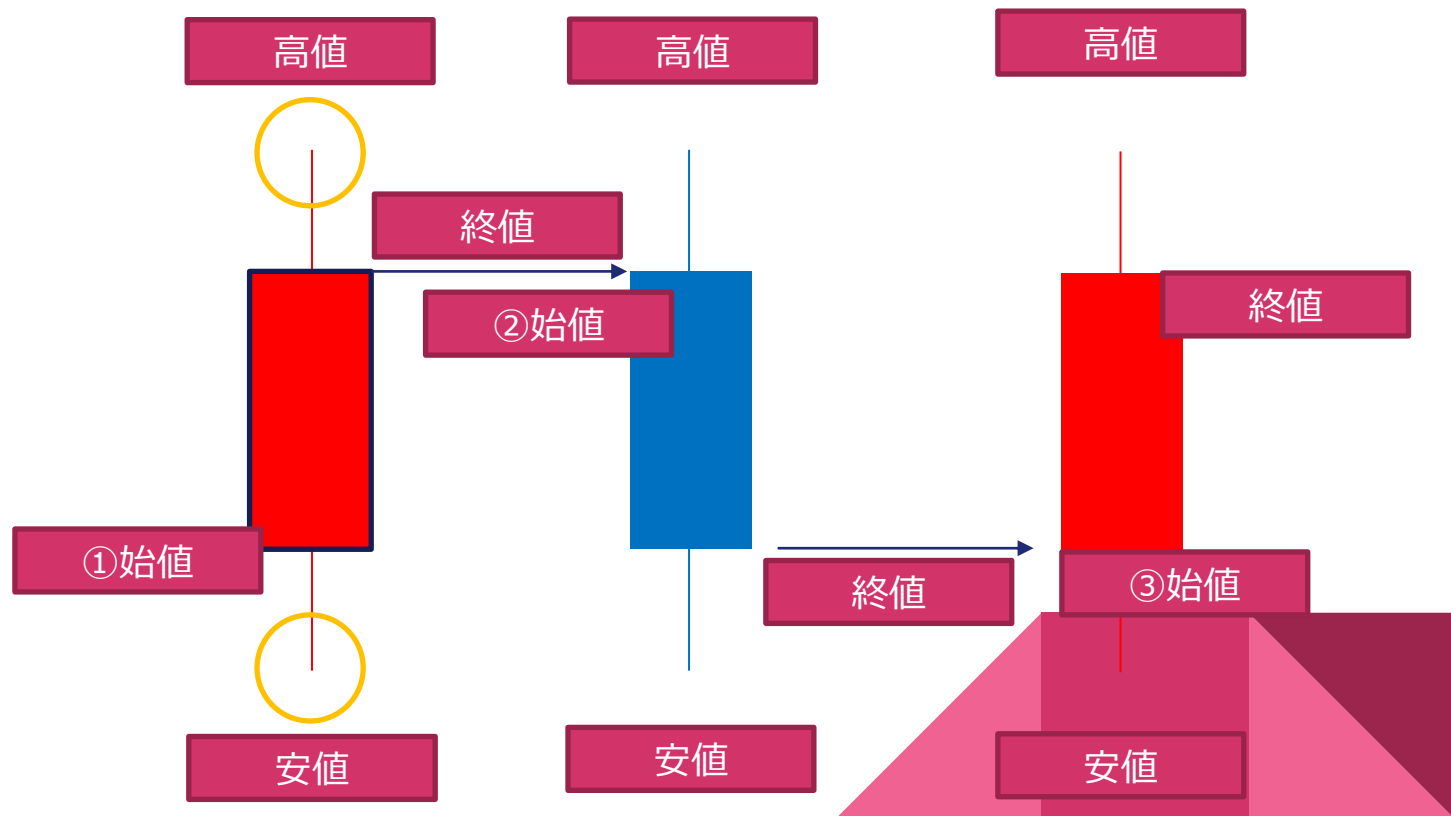
ローソク足が形成される時間軸では
「始値」→「安値」or「高値」→「終値」という順で形成されます。

四本値は絶対声に出して叫んでください。



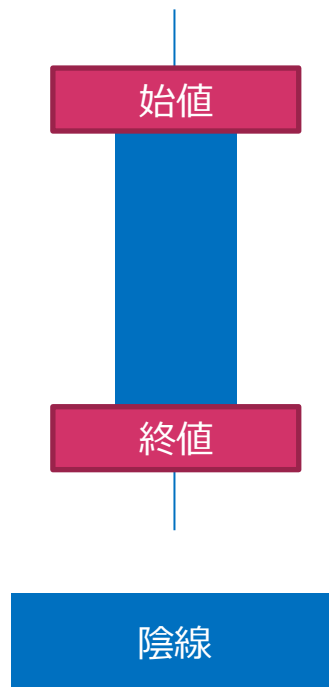
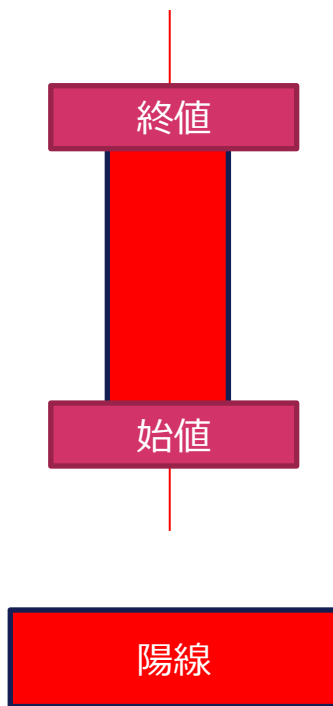
四本値とは

時間軸で見ていくと…



四本値とは

陽線と陰線のルール



類似したチャートを認識する

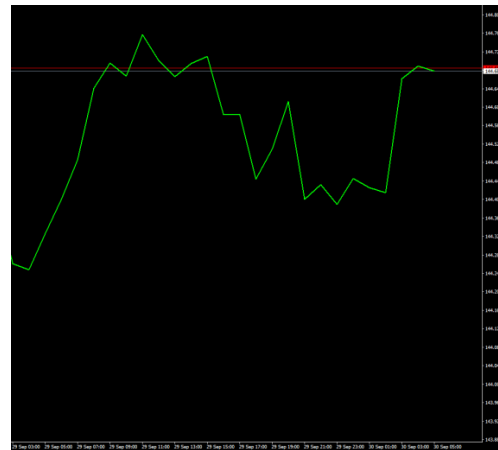
陽線と陰線のルール

ローソク足
バーチャート
ラインチャート

これらは全て四本値から派生している。



バーチャート



ラインチャート

類似したチャートを認識する



ラインチャート
終値のみを使用



バーチャート
4本値を使用
陽線と陰線の概念がない



ローソク足
4本値
陽線と陰線の概念

で、どれを使えば？

- ソク足を利用して情報を取捨選択していく。
- ソク足を見てラインチャートで終値の動きを見る
- ソク足を見てバーチャートでレンジの度合いを見る

□-ソク足▶バーチャート▶ラインチャート
で情報をどんどん薄くする

情報整理は基本
多くの情報を読み取って削減していくのが基本



4.で、どれを使えば？



ローソク足▶バーチャート▶ラインチャートで情報をどんどん薄くする

情報整理は基本
多くの情報を読み取って削減していくのが基本

